



リリースノート

2019年12月12日

AtomOS 10.4

SHOGUN 7



新機能：

クワッド HD ライブスイッチングと 5 チャンネル収録

- ・最大 4 チャンネルを ISO 収録し、同時にプログラム収録も追加できます。
- ・1080p/1080i 60fps 迄の SDI 入力映像を非同期で最大 4 つまで表示および収録します。*
- ・HDMI、SDI、もしくはその両方からプログラムフィードをループアウトします。
- ・タッチスクリーンでの画面切替に応じて、マルチカム Apple Final Cut .xml プロジェクトが、ハードカットやディゾルブを自動的に生成します。
- ・音声の完全構成：
 - 各 ISO チャンネルは、エンベデッドチャンネルに加え XLR アナログ入力を収録できます。
 - プログラムフィードは、選んだ 1 つの ISO チャンネルや XLR アナログオーディオを設定できます。或いは、ISO チャンネルを切り替えたときそれぞれのエンベデッドオーディオを適用できます。

重要事項：

- ・スイッチングナビゲートを適用するには、INPUT メニューで SDI Multistream に設定します。
- ・正常にご利用頂くために、SDI の INPUT1 には必ずソースを入れる必要があります。
- ・* すべての入力映像のフレームレートは完全に一致する必要があります。異なる設定をしますと、画面に警告のポップアップが表示され、すべてのフレームレートが等しくなるまで収録できません。フレームレートを正確に一致させてください。例えば、1080p23.98 と 1080p24 を混在させることなく、すべてのカメラを 1080p23.98 に整えてください。
- ・XML プロジェクトは ISO 収録に設定した全チャンネルとプログラムだけで生成されます。Final Cut プロジェクトが必要な場合、利用できる全 ISO チャンネルを収録することを推奨します。
- ・ディゾルブは収録中やプレイバック中には表示されません。Final Cut Pro X にインポートしたのち、表示されます。

既知の問題：

- ・ゲンロックで 1080p60 入力時、1up ビューがフリーズすることがあります。
INPUT 1 のケーブル抜き差しでこの問題が解消されます。
- ・1080p50/60 Level B SDI しか出力できないカメラは互換性がない場合があります。
この問題が発生したときはカメラの出力を SDI Level A に設定するか、フレームレートを 1080p25/30 に変更したのち、Shogun 7 の電源を入れなおしてください。